

## 意見書

意見書とは、市政の発展に必要な事柄の実現を要請するため、市議会の意思を決定し、国会や政府に提出するものです。

### 児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書

児童虐待防止対策のさらなる強化に向け、政府に対し、以下の事項に取り組むことを強く要望するものです。

- ①児童虐待防止体制の強化や児童相談所の設置支援を促進するため、平成28年度に策定した「児童相談所強化プラン」を見直し、新たなプランを策定するとともに、必要な財政上の措置を速やかに講ずること。
- ②増大する通告・相談に迅速・的確に対応するため、児童相談所と市区町村の役割分担を明確にするるとともに、児童相談所が、警察、児童養護施設、NPO法人など多くの関係機関との連携強化を図ること。
- ③被虐待児童を含む家庭が転出した場合に、必要な情報を転出先の児童相談所などへ確実かつ迅速に引き継ぐことができるよう、全国共通のルールを定めるとともに、警察と児童相談所が情報共有できる仕組みを整備すること。
- ④児童相談所全国共通ダイヤル「189」については、児童虐待通告専用のダイヤルとし、通話料の無料化および運用改善の検討を併せて行うこと。
- ⑤虐待防止対策を進めるため、小中学校においても、虐待への対応を校務の一つに位置付け、組織的な対応体制を整備すること。

## 決議

決議とは、市議会としての意思を決定し、それを対外的に表明するものです。

### フェアトレードの理念支持および普及啓発に関する決議

フェアトレードは、開発途上国などの原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、当該国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指すものであり、国際連合が採択した「持続可能な開発目標（SDGs）」<sup>エスディージーズ</sup>における貧困や飢餓の根絶、持続可能な生産と消費、環境保護といった目標の達成に貢献するものです。

本市においても、フェアトレードを進めていくことは、国際協力を通して世界から尊敬と憧憬を集める国際都市を目指す上で欠かせない取り組みであり、また、同時に、世界の国々の状況や国際社会の問題について市民と共に考える機会をもたらし、もってグローバル化時代に必要な素養を持った人づくりにつながるものです。

よって、本市議会は、ここにフェアトレードの理念を支持することを表明するとともに、その理解がより一層広がることを望むものです。

このほか、平成30年北海道胆振東部地震に関する意見書は3ページに掲載しています。  
なお、意見書および決議の全文は、市議会ホームページに掲載しています。